





○ツツドリ2号記録

日付	曜日	エサ	BW	経過
9月27日	水			<p>奈良県にて保護。平城京近くの寺の窓に激突し保護。</p> 
9月28日	木	フォーミュラ5ml(1:2程度)	125	<p>奈良県救護医からメンバーが預かり、16:40に新旭駅にてリハビリ担当が受取。</p> <p>【症状】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・左翼が動かない。力が入っていない感じで、ほとんど動いていない。 ・腰部分に、縦4cm、横2cm部分の羽が抜けてハゲている。ただし、一部だけ、少し生えてきている。 ・痩せはなし。 ・指の上に立たせても、左側に倒れている。左側が痛かったり力が入らないため左に倒れているのか、それとも右足が痛くてそちらに体重をかけられないため左に傾いているのか。 ・受動的には両翼ともしっかり開く。 ・翼角はしっかり抱えている。 <p>【診断】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・レントゲンや触診からは骨折および脱臼は診られない。(奈良県救護医、メンバー救護医ともに同じ見解) ・メンバー救護医は触診の結果、肘関節部分ではないかと予想。 ・骨折および脱臼がなければ、腱や靭帯か。状況診断としては、天敵に襲われ、腰や翼を抑えられ、パニック状態で逃げた結果、窓に衝突したことが予想される。 <p>【食事】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・毛虫もジャンボミルワームも食べないので、強制給餌を行う。昆虫食なのでフォーミュラを使う。虫に反応はするものの食べることはしない。今はまだストレスが高いことが原因と考えられる。一旦お腹を空かすと食べると思うが、渡りの最終が10月半ばであることを思うと、今はMAX体重を維持したいことから強制給餌を選択。
  				

9月29日	金	フォーミュラ5+5ml (1:2) ジャンボミルワームを切って2匹与える。	126	今日も左にはあまり力が入っていない様子ではあるが、昨日よりも使おうとしている。指の上に乗せると昨日よりもバランスよく立っている。	
9月30日	土	フォーミュラ5+5ml (1:2) ジャンボミルワームを切って2匹与える。	124	日中だけ4mのケージに放す。	
10月1日	日	フォーミュラ5+5+6ml (1:2) ジャンボミルワームを切って2匹与える。	123	昨日よく動いていると思うので、炎症を抑える意味でも室内に置く。昨日よりも翼が開いている。しかし、まだ力の入りが弱い。	
10月2日	月	フォーミュラ6ml+6 (1:2) ジャンボミルワームを夜に5匹与える。	118	今日も一日、家の中で安静とする。夜には明らかに飛んでいる様子が見られる。	
10月3日	火	・フォーミュラ5ml(1:2程度)+ジャンボ2匹 ・ジャンボ3匹 ・フォーミュラ5ml+ジャンボ3匹	-	4mケージに入れる。かなり良く飛んでいる。しかし、止まり木に止まったときには翼端に左右差がある。約3～4cm。腰の羽も少しずつ生えてきている。	
10月4日	水	・フォーミュラ5ml(1:2程度)+ジャンボ3匹 ・フォーミュラ5ml ・フォーミュラ5ml+ジャンボ4匹	120	<p>昨日の疲れと炎症を抑えるため室内で安静とする。今日は台風18号が上陸するので、明日以降は良い天気となり4mケージでリハビリが可能と予想される。放鳥については3パターン考えられる。</p> <p>①今週末に放し、渡りの最終である10月半ばまでに時間を設ける。 長所: 渡りまでに自然下でのリハビリ期間を持てる。 短所: エサがもう自然下にあまりなかったり、回復100%でない可能性もありオオタカなど天敵の危険がある。</p> <p>②ぎりぎりまでリハビリをする。 長所: 翼の翼端の左右差を大幅に修正する期間となる。 短所: 体力の衰えが進んでしまうにも関わらず、放してすぐに渡らなければならない。渡らなければ季候により死亡してしまう可能性がある。また、強制給餌だけでは体重の減少に繋がる可能性もある。加えて、ツツドリの生態上、体羽が抜け減る可能性がある。</p> <p>③冬を飼育し、春以降に放す。 長所: 十分なりハビリ期間を設けることができる。 短所: 体力の衰えや生活に必要な感覚を大幅に失う可能性がある。また、冬を飼育しきれぬ可能性は100%とは言えない。</p>	
10月5日	木	・フォーミュラ5ml+ジャンボ4匹 ・フォーミュラ6ml+ジャンボ5匹	118	今日から日中は毎日4mケージに出す。今日は、方向転換もできて、上に向かって飛んでいる。体重は少し減っている。エサの回数を増やすか、固形を増やすべき。	
10月6日	金	・フォーミュラ5ml+ジャンボ5匹 ・フォーミュラ5ml ・フォーミュラ6ml+ジャンボ6匹	-	よく飛んでいる。ストレートを飛ぶときは4mケージ程度では異常を感じない。	
10月7日	土	・フォーミュラ5ml+ジャンボ5匹 ・フォーミュラ5ml ・フォーミュラ6ml+ジャンボ5匹	120	渡りやエサのことを考えると、月曜日に放鳥することが望ましいと考える。メンバーの情報から、水上池付近では、まだツツドリの幼鳥を見ることがあるとのこと。月曜日から天気は安定する様子。良いタイミングか。	
10月8日	日	・フォーミュラ7ml+ジャンボ5匹 ・フォーミュラ5ml ・フォーミュラ6ml+ジャンボ5匹	122	<p>体重も少し増えた。しかし自食しない今の状態で、体重を維持することは難しい。また、よく暴れるようになってきており、今後は強制給餌もひとりでするには安全性を欠くようになってくる。</p> <p>一方、飛翔について下から急角度で、上へ上るときに少し体が波打つ感じが見られる点が心配である。しかし、これが異常か、それともツツドリの正常個体でも、急角度(横に2m、縦に2m)に上がる機会があれば同じように失速し、体を波打たせながら必死で上がるのかはわからない。ストレートを飛ぶときに異常が見られないならば今回は放鳥を試みるべきだろう。数時間追跡をし、再回収できるようであれば延期とする。今ならば、羽もすべて損傷なくそろっている。</p>	

<p>10月9日 月</p>	<p>・フォーミュラ5ml+ ジャンボ5匹</p>	<p>126</p>	<p>7:00に強制給餌。体重は放鳥直前の測定時のもの。フンや代謝はあるものの、朝のエサの影響もあるだろう。 11:06に放鳥。場所は平城京跡資料館付近梅の木あたり。 一本目:5mほど先の木に止まる。飛びは遅く、弱い感じがする。しばらく動かないので、20分ほど待ち、飛翔能力の確認をするために近づいて二本目を飛ばす。 二本目:スピードもあり、良く飛んでいる。今度は高さのあるところに止まっている。 三本目:少し先の木の高いところに止まる。 四本目:遠くへ飛んで森を超えていった。ここで追跡終了。最後の飛翔は、左右差もなく、かなりきれいに飛んでいた。速さもあった。 全体的に見て、放鳥のタイミングは良かったと考えられる。付近には、ツツドリのエサとなり得るケムシやバッタなどの昆虫が多く見られた。</p>	
				
<p>まとめ</p>	<p>ツツドリについては、キジバトほどではないが強制給餌や世話の際に羽が抜けやすい傾向にあるように思う。よって、長期の強制給餌などは望ましくないと考える。 また、一旦体重を減らしたりしないと自食は望めない。長期になる場合は一旦体重が減るまで待つなど、自食を促すよう心掛ける必要があるだろう。しかし、短期の放鳥が可能である場合は、フォーミュラやジャンボミルワームを使って体重の維持をすべきである。 ツツドリはなかなかの大食漢であるためか、100%の体重を維持するためには回数やエサの量が必要である。 毛虫は、ツツドリと同じ処理はできないので、固形を強制給餌する場合はジャンボミルワームが安全である。(自食が可能であっても毛虫の場合はふりまわすときに中身が出てしまうこともあり、食べている数量ほど体重が維持できない。その点においてもジャンボミルワームは有効である。)</p>			